



Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの管理

- [Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの概要 \(1 ページ\)](#)
- [Wide Area Bonjour ドメインとポリシー構造の作成 \(4 ページ\)](#)
- [グローバルポリシー構造について \(8 ページ\)](#)
- [柔軟な Wide Area Bonjour サービスのルーティング設計 \(9 ページ\)](#)
- [Cisco Wide Area Bonjour の一括設定 \(11 ページ\)](#)
- [Cisco Wide Area Bonjour の設定管理 \(18 ページ\)](#)

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの概要

Cisco DNA Center は、エンタープライズ ネットワーク 向けの豊富な ネットワーク コントローラ 機能、自動化、および アシユアランス 機能を サポート します。Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、コントローラ 機能が 複数の ネットワーク 展開 モデル 間で mDNS サービス ルーティングを サポート できるようにする アドオン サービス です。コントローラ モード では、Cisco DNA Center は ネットワーク 全体 に 分散 された SDG エージェント と の ステートフル サービス ルーティング ピア セッション を 構築 します。mDNS サービス を 動的 に 検出 し、他の SDG エージェント に 配布 します。Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション の IT 定義 および グローバル ポリシー は、mDNS サービス ルーティング を 定義 します。

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、ネットワーク全体のサービスルーティングピア、グローバルポリシー、サービスインスタンスなどを構築、管理、およびトラブルシューティングするための直感的な GUI を提供 します。Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションはサービスルーティング コントローラ として ポリシー 管理 を サポート し、サービスルーティング 機能 に 加えて、管理 と トラブルシューティング 向け の 豊富な サービス アシユアランス 機能 を 実現 します。

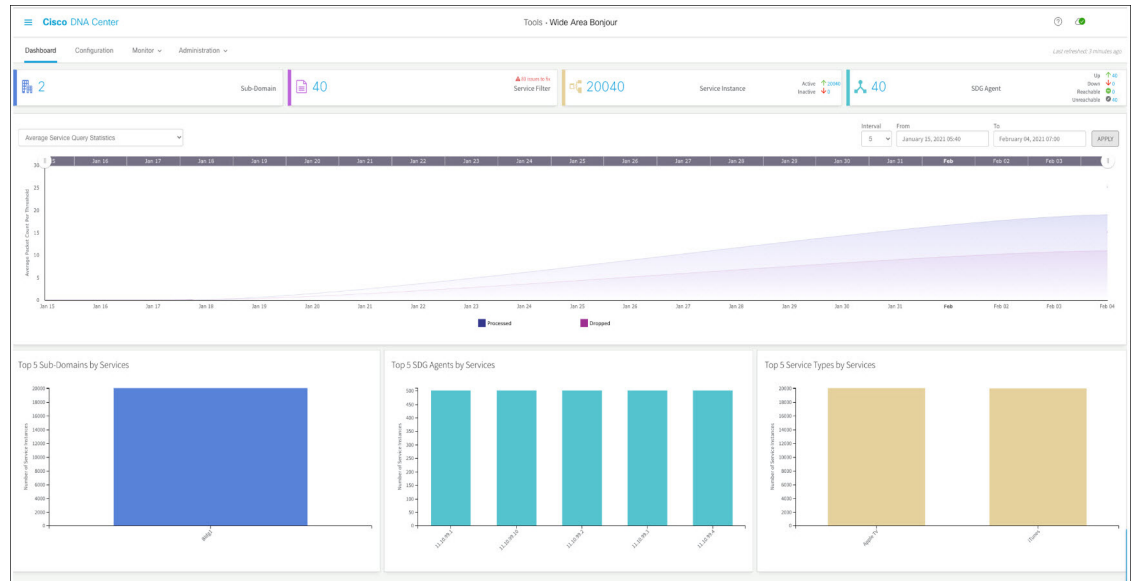


(注) Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、ネットワークデバイスにサービスポリシーを実装するためのネットワーク自動化をサポートしていません。ネットワーク上でサービスポリシーを手動で構成する必要があります。

この章では、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションとそのサポート機能の概要について説明します。

次の図は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのダッシュボードを示しています。

図 1: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション ダッシュボード



次の表は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの4つの主要なエリアの機能を説明しています。グローバルサービスルーティングの実装と管理の詳細については、「[Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのモニタリング](#)」を参照してください。

表 1: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの機能

管理	機能
ダッシュボード	<p>Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションダッシュボードは、グローバルサービスルーティングポリシーと処理情報の統計ビューを提供します。ダッシュボードは次のカテゴリに分類され、それぞれが独自のサービスアシュアランス機能を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Dashlets] : 構成されたサブドメインとサービスフィルタポリシーの数、動的に検出されたサービスインスタンス、および Wide Area Bonjour サービスルーティングのリアルタイム ピアリング ステータスを提供する主要なインジケータ。 • [Service Query Statistics] : SDG エージェントから送信された mDNS サービスのクエリメッセージの平均および累積数を高精度な時間間隔で監視するための 2 階層の履歴チャートビュー、および成功したクエリ応答とサービスポリシーの不一致が原因でドロップされた要求を示す 2 層のチャート。 • [Top Talkers] : ネットワーク内のトップトーカーの棒グラフ。

管理	機能
Configuration	<p>Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブでは、グローバル サービス ルーティング ポリシーを構築および管理できます。[Configuration] タブは次のセクションに分かれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Domains and subdomains] : Wide Area Bonjour ドメイン内の サービス ルーティング とポリシーを有効にするための、SDG エージェントに関連付けられた企業の地理位置情報の論理構造。 • [Service filters] : グローバルサービスの検出と配布を可能にする直感的な両側ポリシー構造。mDNS サービスは、1つ以上の送信元SDG エージェントから受け入れられます。mDNS サービスは、1つ以上のクエリ SDG エージェントに配布されます。 • [360 degree view] : 運用と管理を容易にするために使用される、複数のサブドメインレベルでの SDG エージェント、ポリシー、インスタンス数の統計およびステータス情報の概要。
Monitor	<p>Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Monitor] タブから、サービス ルーティングの詳細なステータス、サービスインスタンス、およびトラブルシューティング情報を表示できます。[Monitor] ページは、次のカテゴリに分かれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [SDG agent] : ネットワーク全体に分散された SDG エージェントスイッチを使用して、サービス ルーティングを管理、同期、およびトラブルシューティングするための中心点。各 SDG エージェントのサービスフィルタ、デバイスの到達可能性、およびデバイスの有用性の詳細ビュー。 • [Service instance] : サービスインスタンスの詳細をリアルタイムで包括的に表示し、Wide Area Bonjour ドメイン内のサービスの完全な到達可能性ソース、アドレス計画、およびサービスルート状態を提供します。 • [Troubleshooting] : Wide Area Bonjour ドメイン内のサービス ルーティングの問題をトラブルシューティングするための組み込みツールキット。トラブルシューティングログは、選択したメッセージタイプとともにダウンロードでき、自己解決の可能性のある課題を示唆する簡単な情報が含まれています。

管理	機能
Administration	<p>Wide Area Bonjour アプリケーションの [Administration] タブから、高度なサービス ルーティング パラメータを管理できます。アプリケーションのこのタブから、以下を管理できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Service type] : Wide Area Bonjour サービスルーティングのグローバルサービスポリシーを構築する際の重要なタブ。Cisco DNA Center は、1 つ以上の mDNS poinTeR (PTR) レコードからユーザーフレンドリな名前への組み込みまたはユーザー定義のカスタムサービス タイプリポジトリ マッピングをサポートします。 • [Global parameters] : MD5 認証、キープアライブタイマー、非アクティブなサービスインスタンス管理など、安全で信頼性の高いルーティングピア接続を構築および管理するための中央サービス ルーティング パラメータ。

Wide Area Bonjour ドメインとポリシー構造の作成

Wide Area Bonjour でグローバルサービスポリシーを構築する前に、最初に基本的な設定を構成する必要があります。この項では、ドメインの多層論理構造の作成に焦点を当てます。Wide Area Bonjour サービスルーティングポリシーを実装するために、各層に関連付けられるサービスポリシー構造について簡単に説明します。

Wide Area Bonjour アプリケーションは、会社の地理位置情報と建物の計画の階層と合わせることで、次のユーザー定義のドメイン階層をサポートしています。

- **ルートドメイン** : Wide Area Bonjour アプリケーションには、基本構成としてルートドメインが必要です。ルートドメインは、会社の名前や主要なサイトの場所などとして定義できます。Wide Area Bonjour アプリケーションは、1 つのルートドメインをサポートしています。
- **サブドメイン** : サブドメインは、サイトの場所の属性（建物名など）に合わせて作成できる論理構造です。Wide Area Bonjour アプリケーションは複数のサブドメインをサポートしており、サブドメインの下にさらにサブドメインを持つことができます。

Wide Area Bonjour ドメインの作成

ルートドメインの構成は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションを構成するための最初の手順です。



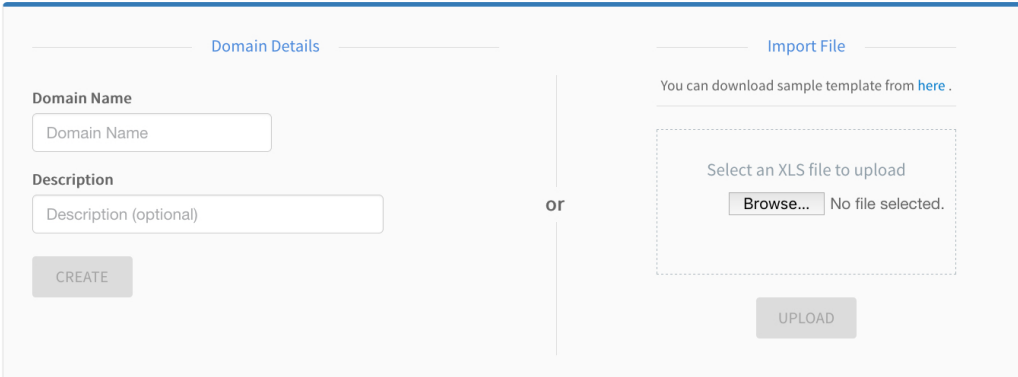
(注) 構成後にルートドメインの名前を編集することはできません。ルートドメインの名前を変更するには、まずドメインを削除してから、新しい名前でも再構成する必要があります。

次の図は、ルートドメインを構成する前の Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブを示しています。

図 2: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでルートドメインを構成する

It looks like there are no domains.

Once available, you can create domains/subdomains and associate policies & agents.



The screenshot shows a web interface for configuring domains. It is divided into two main sections: 'Domain Details' and 'Import File'. The 'Domain Details' section on the left has two input fields: 'Domain Name' and 'Description (optional)', followed by a 'CREATE' button. The 'Import File' section on the right has a link to download a sample template, a dashed box for file selection with a 'Browse...' button and 'No file selected.' text, and an 'UPLOAD' button. A vertical line with the word 'or' separates the two sections.

ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。

ステップ 2 [Domain Name] セクションで、ルートドメインの名前を入力します。

ステップ 3 (オプション) ルートドメインの説明を入力します。

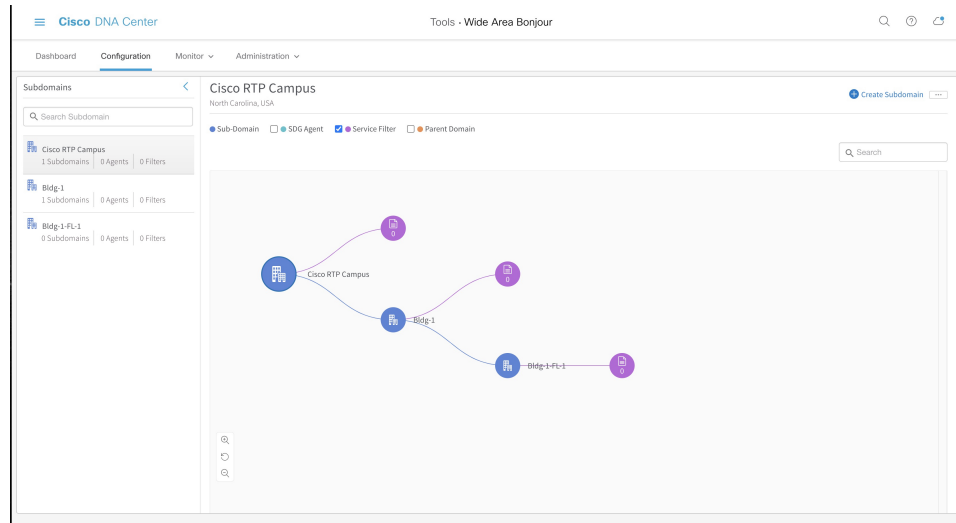
ステップ 4 [CREATE] をクリックします。

Wide Area Bonjour サブドメイン階層の作成

サブドメインの構成は、階層構成要件に基づいて Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションを構成するための二次的なステップです。サブドメイン階層は、必要な数のレベルまで拡張できます。Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションには、任意のサブドメインレベルで Wide Area Bonjour サービス ルーティング グローバル ポリシーを構築する柔軟性があります。

次の図は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブを示しています。

図 3: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション - 構成



[Configuration] タブは、次のサブドメイン論理パネルに分割されており、構成の容易さと大規模なグローバルポリシーの管理をサポートしています。

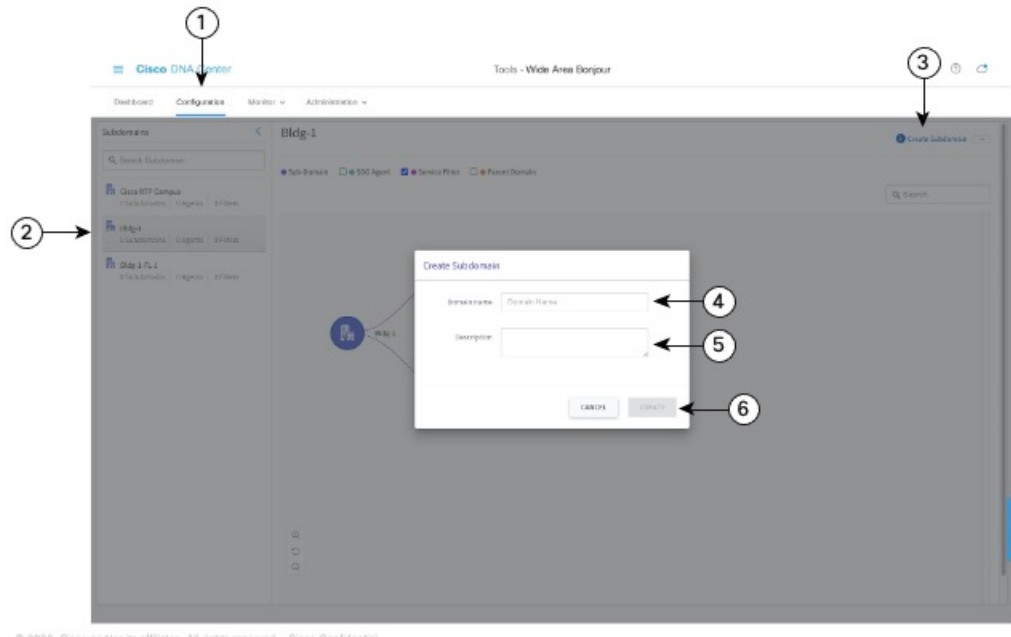
- [Subdomain panel] : 構成されたルートドメインとサブドメインを一覧表示する単一列のテーブル。ネットワーク管理者は、ダウンストリームサブドメイン、SDG エージェント、および Wide Area Bonjour ドメイン内のグローバルサービスルーティング用に構成されたサービスフィルタの集計数を簡単に収集できます。
- [Subdomain Canvas] : 完全なドメイン階層ビューをグラフィカルな形式で提供する広いキャンバス。サービスフィルタは、任意のレベルのサブドメインに作成できます。柔軟なツリー構造は、折りたたんで縮小表示をサポートすることも、展開して SDG エージェントの 360 度ビューを有効にすることも、サブドメインレベルごとのサービスフィルタカウントを有効にすることもできます。



- (注) サブドメインの作成後にサブドメインの名前を編集することはできません。サブドメインの名前を変更するには、まずサブドメインを削除してから、新しい名前で作成する必要があります。

次の図は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでサブドメインを作成する手順を示しています。

図 4: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションを使用してサブドメインを作成する手順



ステップ 1 [設定 (Configuration)] タブに移動します。

ステップ 2 左側のペインから、新しいサブドメインを作成するドメインまたはサブドメインを選択します。

ステップ 3 GUI の右上にある [Create Subdomain] をクリックします。

ステップ 4 [Domain Name] フィールドにサブドメインの一意の名前を入力します。

ステップ 5 (オプション) サブドメインの説明を入力します。

ステップ 6 [CREATE] をクリックします。

Wide Area Bonjour ドメイン階層の削除

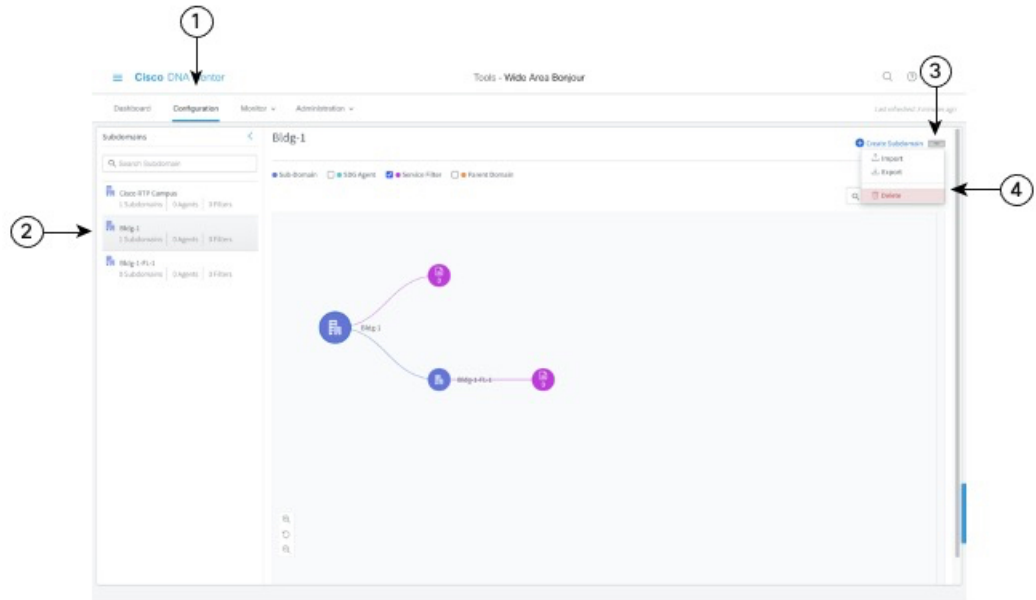
ルートドメインまたはサブドメインはいつでも削除できます。ドメインを削除すると、関連付けられたドメインまたはサブドメイン内の SDG エージェントスイッチとのステートフル サービスルーティング隣接関係がすぐに切断されます。さらに、動的に検出されたすべての mDNS サービスはフラッシュされ、変更がすぐに適用されます。



(注) ドメインまたはサブドメインの削除を元に戻すことはできません。ドメインまたはサブドメインを復元するには、手動で再構成するか、バックアップした構成ファイルをアップロードする必要があります。

次の図は、サブドメインを削除するために必要な手順を示しています。

図 5: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでサブドメインを削除する手順



ステップ 1 [設定 (Configuration)] タブに移動します。

ステップ 2 左ペインから、削除するドメインまたはサブドメインを選択します。

ステップ 3 画面の右上部分にあるオプションメニューから、[Delete] をクリックします。

ステップ 4 選択したドメインまたはサブドメインを削除することを確認します。

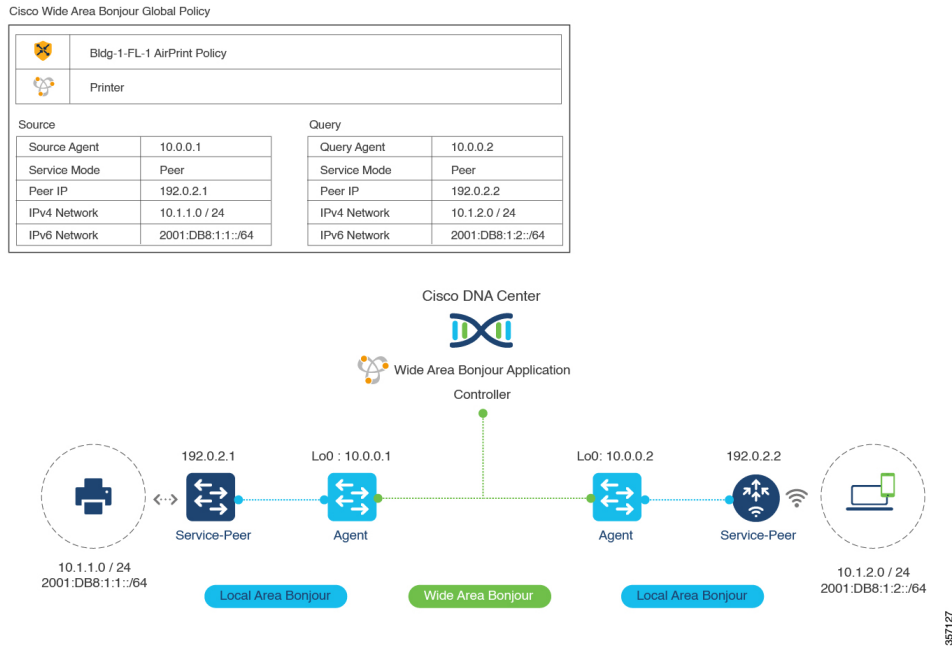
グローバルポリシー構造について

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのグローバルサービスポリシー構造は、基本的な概念を使用して、ステートフルで信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチによるポリシーベースの mDNS サービスの検出と配布を可能にします。Wide Area Bonjour のグローバルサービスポリシーは、ソースとクエリの 2 つの主要なカテゴリに分けられます。

一連のパラメータで構成される Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでサービスフィルタを構築し、1 つ以上の mDNS サービスタイプをアクティブにして、特定の送信元 SDG エージェントスイッチからサービスを受け入れ、リモート レシーバエンドポイントからオンデマンドでサービスを他の SDG エージェントにルーティングできます。

次の図は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの参照グローバルサービスフィルタを示しています。

図 6 : Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの参照グローバルサービスフィルタ



この図では、送信元 SDG エージェントスイッチに設定されているすべてのネットワーク サービス ルーティング パラメータがポリシー内のパラメータと一致する場合、Cisco Wide Area Bonjour は mDNS サービスタイププリンタを受け入れます。mDNS サービスタイププリンタは、構成されたすべてのネットワーク サービス ルーティング パラメータが、サービスを要求しているワイヤレス ネットワーク ロケーションからのパラメータと一致する場合に、クエリ SDG エージェントにオンデマンドでルーティングされます。

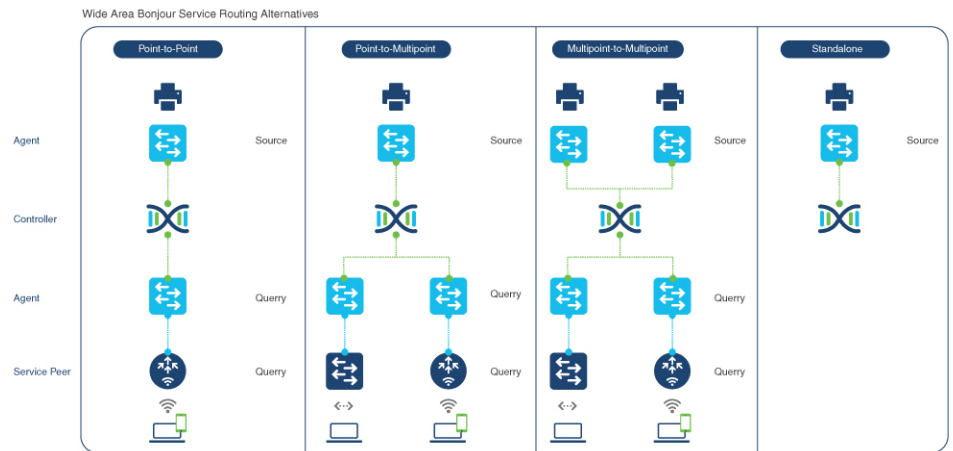
Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、複数のタイプのエンタープライズ ネットワークを介したサービスルーティングをサポートしています。

柔軟な Wide Area Bonjour サービスのルーティング設計

エンタープライズ ネットワークには、さまざまなユースケースで IP ネットワーク全体でサービスを検出して動的にルーティングするための柔軟性が必要です。Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、複数のタイプのルーティングトポロジのサービス ルーティング ポリシーを構築するための直感的な GUI をサポートしています。

次の図は、サービスルーティングを有効にする Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでの参照グローバルポリシーの例を示しています。1つ以上の mDNS サービスタイプをサポートする独自のポリシーを構築して、ネットワーク全体で柔軟なルーティングを可能にすることができます。

図 7: 柔軟な Wide Area Bonjour サービスのルーティング設計



各サービスルーティングポリシーは、ネットワーク内のサービスを動的に検出して配布するように Cisco DNA Center で計画および構成できます。必要に応じて、グローバルポリシー構成を簡単に調整して、サービスタイプを追加したり、SDG エージェントスイッチを追加したり、サービスピアやネットワークを追加したりできます。インテントベースのサービスルーティングを実装するには、任意の導入モデルでポリシーを構成できます。

- ポイントツーポイント：**このサービスルーティングトポロジでは、単一の送信元 SDG エージェントスイッチを構成して、サービスインスタンス（プリンタなど）を検出できます。クエリ要求を受信すると、Cisco DNA Center はプリンタ情報を単一のリモートクエリ SDG エージェントにルーティングします。グローバルポリシーには、サービスピアロールの拡張ネットワークデバイス（Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラまたは Catalyst 9000 スイッチなど）を持つ、選択された SDG エージェントからの高度なパラメータが含まれる場合があります。このポリシー構成タイプは、プリンタを単一の送信元 SDG エージェントから単一のクエリ SDG エージェントに制限し、ポイントツーポイントルーティングトポロジを構築します。
- ポイントツーマルチポイント：**複数のクエリ SDG エージェントデバイスを使用したポイントツーポイントルーティングトポロジの拡張バージョン。このグローバルポリシー設定は、クエリ要求を受信したときに、単一の送信元 SDG エージェントから複数のリモート SDG エージェントネットワークデバイスにサービスをルーティングする機能を提供します。
- マルチポイントツーマルチポイント：**複数の送信元 SDG エージェントとクエリ SDG エージェントを使用したポイントツーポイントルーティングトポロジの拡張バージョン。このグローバルポリシー設定は、クエリ要求を受信したときに、複数の送信元 SDG エージェントから複数のリモート SDG エージェントネットワークデバイスにサービスをルーティングする機能を提供します。
- スタンドアロン：**このサービスルーティングトポロジでは、Cisco DNA Center は 1 つ以上の送信元 SDG エージェントスイッチから mDNS サービスインスタンスを検出できます。このトポロジでは、ネットワーク管理者はクエリ SDG エージェントを構成する必要はありません。このタイプの構成では、Cisco DNA Center は SDG エージェントスイッチ

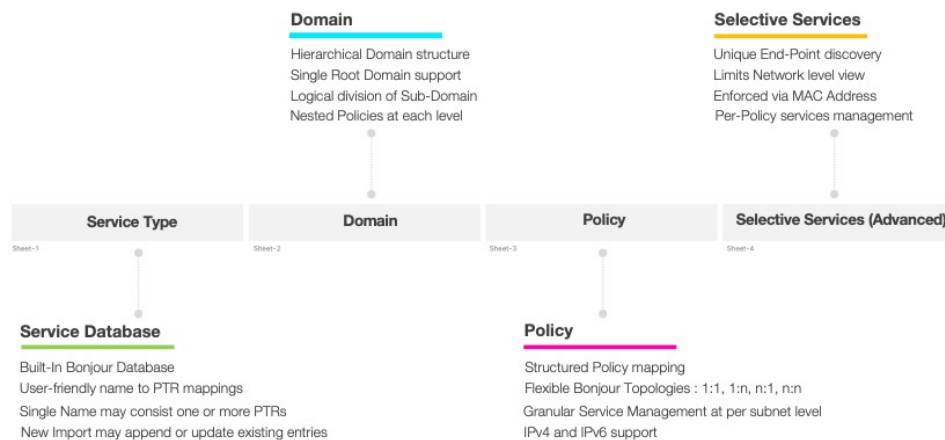
とサービスを検出および管理できますが、Wide Area Bonjour ドメイン内のどの SDG エージェントスイッチにもサービスをルーティングしません。

Cisco Wide Area Bonjour の一括設定

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでは、GUI を介して個別に、または展開の任意の段階で一括して、サービスフィルタポリシーを柔軟に構築および管理できます。この項では、バックアップ用の構成ファイルの一括プロビジョニングと管理に焦点を当てます。

サービスフィルタポリシー構成テンプレートは、Microsoft Excel XLS 形式です。事前に構築された構造化およびフォーマット済みの空の XLS テンプレートファイルは、任意のレベルのドメイン階層から、最新の構成で、初期プロビジョニング段階または実行時に、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションからダウンロードできます。XLS テンプレートファイルは4つのシートに分割されています。大規模なサービスフィルタポリシーを自動化するために、各シートは該当する詳細と相互にリンクされています。

図 8: Cisco Wide Area Bonjour のポリシーテンプレート



Cisco Wide Area Bonjour の XLS テンプレートファイル内の事前定義された列と列名は変更してはいけません。事前定義された列や名前を変更すると、変更したファイルのインポート時にエラーが発生する可能性があります。次の参照構成モデルに基づいて、各シートのそれぞれの列に必要なデータを入力する必要があります。

選択サービスのシートはオプションであり、高度なサービスルーティングシナリオで使用できます。このシナリオでは、Cisco DNA Center からのサービスの配信をユーザー定義の静的 MAC アドレスに限定する必要があります。たとえば、Cisco DNA Center が選択サービスをサポートする最大 10 台の AirPrint 対応プリンタを検出した場合、送信元 SDG エージェントがクエリ SDG エージェントからクエリを受信した場合に共有される 2 台のプリンタの MAC アドレスを静的に割り当てることができます。

この項では、複数のワークシートに分散された一括サービスのフィルタポリシー構成パラメータを作成するための参照テンプレート構成値を示します。

次の表に、サービスタイプワークシートで構成するパラメータを示します。

表 2: Cisco Wide Area Bonjour ポリシー - サービスタイプシート

パラメータ	値	説明
サービス タイプ名	<ユーザー定義サービス名>	ユーザー定義のサービス名を入力して、カスタムサービスタイプを作成します。
Bonjour タイプ	<マルチキャスト DNS ポインタレコード>	1 つ以上の mDNS PTR を入力します。各 PTR はピリオド (.) で終了する必要がある、それぞれをコンマ (,) で区切る必要があります。

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのドメインとサブドメインの階層を構築するには、ドメインシートに入力する必要があります。初期構成として、最初のエントリーはルートドメインで構成され、その後に1つ以上のサブドメインが続き、ルートドメイン行に構成された親ドメイン名でリストされている必要があります。階層は、適切な親サブドメイン名を使用して、必要に応じて追加のサブドメインで拡張できます。

次の表に、ドメインワークシートで構成するパラメータを示します。

表 3: Cisco Wide Area Bonjour ポリシー - ドメインシート

パラメータ	値	説明
Domain-Name	<ルートドメインまたはサブドメイン名>	ルートドメインまたはサブドメインの名前を入力します。
Description	<ドメインの説明>	(オプション) ドメインの説明を入力します。
Parent-Domain	<ルートドメインまたはサブドメイン名>	列 A のドメインタイプがルートドメインの場合、このセルは空白のままにします。 A 列のドメインタイプがサブドメインの場合、ルートドメイン名またはサブドメイン名を入力して階層を構築します。

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでグローバル サービス フィルタ ポリシーを構築するには、ポリシーシートにデータを入力する必要があります。前の項で説明したように、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでのサービスフィルタの構成と管理は、サブドメインレベルで適用されます。したがって、ポリシーシートは、前の2つのシートで提供された情報を前提条件として参照し、新しいポリシー構成を各ドメインに関連付けます。

表 4: Cisco Wide Area Bonjour ポリシー - ポリシーシート

パラメータ	値	説明
Domain	<ルートドメインまたはサブドメイン>	このポリシーを構成する必要があるドメインの名前を入力します。
Service Type	<mDNS サービスタイプ>	このポリシーで許可される 1 つ以上の mDNS サービスタイプを入力します。各サービスタイプは、コンマ (,) 区切り文字で区切る必要があります。
Policy Name	<ポリシー名>	サービスポリシーの一意の名前を入力します。
Description	<ポリシーの説明>	(オプション) サービスポリシーの説明を入力します。
Enabled	<True False>	構成時にポリシーを有効にするには True を入力し、ポリシーを無効にするには False を入力します。
Deployment Type	<トラディショナル オーバーレイ>	トラディショナルまたはオーバーレイの展開タイプを入力します。オーバーレイ展開モデルは、BGP EVPN VXLAN でサポートされています。
Source IP	<送信元 SDG エージェント IPv4 アドレス>	サービスルーティングの隣接関係を構築し、サービスを動的に学習するための Cisco DNA Center の送信元 SDG エージェントの IPv4 アドレスを入力します。

パラメータ	値	説明
Source Service Layer	<Local Peer>	<p>サービスレイヤに応じて、Local または Peer を入力します。</p> <p>Local : SDG エージェントスイッチは、直接接続されたプロバイダーからの mDNS サービスを検出します。</p> <p>Peer : SDG エージェントスイッチは、プロバイダーが接続されているダウンストリームの L2 スイッチまたはワイヤレスコントローラ デバイスから mDNS サービスを検出します。</p>
Source V4 Network	<送信元 IPv4 ネットワークアドレス>	サービスプロバイダーがネットワーク内でサービスをアナウンスすると予想される送信元 IPv4 ネットワークアドレスを入力します。
Source V4 Mask	<送信元 IPv4 ネットワークマスク>	サービスプロバイダーがネットワーク内でサービスをアナウンスすると予想される送信元 IPv4 ネットワークマスクを入力します。
Source V6 Network	<送信元 IPv6 ネットワークアドレス>	サービスプロバイダーがネットワーク内でサービスをアナウンスすると予想される送信元 IPv6 ネットワークアドレスを入力します。
Source V6 Mask	<送信元 IPv6 ネットワークマスク>	サービスプロバイダーがネットワーク内でサービスをアナウンスすると予想される送信元 IPv6 ネットワークマスクを入力します。

パラメータ	値	説明
Source Peer ID	<送信元ピア IPv4 アドレス>	送信元サービスレイヤがピアの場合は、プロバイダーが接続されている L2 スイッチまたはワイヤレスコントローラデバイスの送信元 IPv4 アドレスを入力します。
Source Location Group ID	<送信元ロケーショングループ ID>	送信元ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 0 ~ 4096 です。
Source VNI ID	<送信元EVPN仮想ネットワーク ID>	展開タイプがオーバーレイの場合、サービスプロバイダーが BGP EVPN オーバーレイネットワークでサービスをアナウンスすることが予想される送信元レイヤ 3 VNID またはレイヤ 2 VNID を入力します。
Source IRB	<対称 IRB 非対称 IRB>	展開タイプがオーバーレイの場合は、サービスプロバイダーが BGP EVPN オーバーレイネットワークでサービスをアナウンスすることが期待される対称 IRB (L3 リーフ) または非対称 IRB (L2 リーフ) モードで送信元 SDG エージェントを入力します。
Query IP	<クエリ SDG エージェント IPv4 アドレス>	サービスルーティング隣接関係を構築し、要求に応じてサービスを動的に配布するための Cisco DNA Center のクエリ SDG エージェントの IPv4 アドレスを入力します。

パラメータ	値	説明
Query Service Layer	<Local Peer>	<p>サービスレイヤに応じて、Local または Peer を入力します。</p> <p>Local : SDG エージェントスイッチは、直接接続されたプロバイダーからの mDNS レシーバエンドポイントを想定します。</p> <p>Peer : SDG エージェントスイッチは、mDNS レシーバエンドポイントがダウンストリームの L2 スイッチまたはワイヤレスコントローラ デバイスに接続されていることを想定します。</p>
Query V4 Network	<クエリ IPv4 ネットワークアドレス>	エンドポイントレシーバがネットワーク内のサービスを要求すると予想される、クエリ IPv4 ネットワークアドレスを入力します。
Query V4 Mask	<クエリ IPv4 ネットワークマスク>	エンドポイントレシーバがネットワーク内のサービスを要求すると予想される、クエリ IPv4 ネットワークマスクを入力します。
Query V6 Network	<クエリ IPv6 ネットワークアドレス>	エンドポイントレシーバがネットワーク内のサービスを要求すると予想される、クエリ IPv6 ネットワークアドレスを入力します。
Query V6 Mask	<クエリ IPv6 ネットワークマスク>	エンドポイントレシーバがネットワーク内のサービスを要求すると予想される、クエリ IPv6 ネットワークマスクを入力します。

パラメータ	値	説明
Query Peer ID	<クエリピア IPv4 アドレス>	クエリサービスレイヤがピアの場合は、mDNS レシーバエンドポイントが接続されている L2 スイッチまたはワイヤレスコントローラ デバイスのクエリ IPv4 アドレスを入力します。
Query Location Group ID	<クエリロケーショングループ ID>	クエリロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 0 ~ 4096 です。
Query VNI ID	<クエリ EVPN 仮想ネットワーク ID>	展開タイプがオーバーレイの場合は、mDNS レシーバエンドポイントが BGP EVPN オーバーレイネットワークでサービスを要求すると予想されるクエリレイヤ 3 VNID またはレイヤ 2 VNID を入力します。
Query IRB	<対称 IRB 非対称 IRB>	展開タイプがオーバーレイの場合は、サービスプロバイダーが BGP EVPN オーバーレイネットワークでサービスを要求することが期待される対称 IRB (L3 リーフ) または非対称 IRB (L2 リーフ) モードでクエリ SDG エージェントを入力します。

アドバンスドサービスシートはオプションのシートで、SDG エージェントにクエリを送信するためのアドバンスドサービスの配布を構成するために使用されます。ネットワーク管理者は、一致するポリシー名とサービスプロバイダーの Bonjour エンドポイントの MAC アドレスに基づいて、サービスインスタンスの配布を制限できます。

次の表に、選択サービスシートのパラメータを示します。

表 5: Cisco Wide Area Bonjour ポリシー - 選択サービスシート

パラメータ	値	説明
Policy Name	<ポリシー名>	ポリシーワークシートに適用されているポリシー名を入力して、構成されたネットワークからのすべてではなく、選択サービスインスタンスの配布を有効にします。
Source MAC Address	<サービスプロバイダー MAC アドレス>	ポリシーに関連付けられた 00:00:00:00:00:00 の形式で単一の MAC アドレスを入力します。別の MAC アドレスエントリの場合は、別の行を使用します。

Cisco Wide Area Bonjour の設定管理

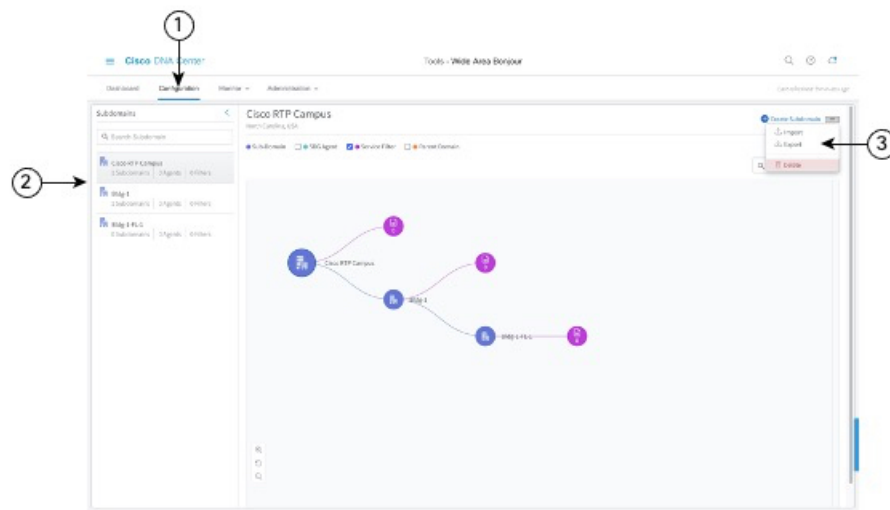
Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでは、インポートおよびエクスポート機能を使用して、一括設定を柔軟に管理できます。アプリケーションドメインとポリシーは、手動プロセスの代わりに、一括プロビジョニングの最初の Day-0 構成として構築およびインポートできます。既存のポリシー設定をローカルコンピュータに XLS 形式でダウンロードして、既存のポリシーを更新するか、バックアップを保持することができます。

ポリシー設定のインポートはシームレスに動作し、動作中に Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションに追加できます。新しくインポートされたファイルには、データベース内の新しいサービスタイプ、既存のポリシーへの追加サービス、または新しいポリシーを持つ新しいサブドメインが含まれる場合があります。設定のインポート中、既存の SDG エージェントを使用するアプリケーションとサービスピアリングは維持され、Wide Area Bonjour ドメイン内のネットワークとサービスをスケールアップするための無停止の一括プロビジョニング機能を提供します。アプリケーションのドメイン階層の任意のレベルで設定をインポートできます。

エクスポート機能は、最新の設定のスナップショットを Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションからローカルコンピュータにダウンロードします。エクスポート機能からダウンロードしたファイルは、必要に応じて後で復元できる設定のバックアップとして使用できます。

次の図は、一括設定 XLS ファイルをインポートまたはエクスポートする手順を示すスクリーンショットです。

図 9:一括設定 XLS ファイルをインポートまたはエクスポートする手順



ステップ 1 [設定 (Configuration)] タブに移動します。

ステップ 2 左側のペインから、一括設定 XLS ファイルをインポートまたはエクスポートするドメインまたはサブドメインを選択します。

ステップ 3 画面右上のメニューボタンをクリックします。

ステップ 4 [Import] をクリックして、ローカルコンピュータから Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションに設定をアップロードします。または、[Export] をクリックして、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションからローカルコンピュータに設定ファイルをダウンロードします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。